

平成 17 年度老人保健健康増進当事業報告書
(介護保険制度の適正な実施及び
質の向上に寄与する調査研究事業)

認知症介護の人材育成に関する研究 報告書

平成 18 年 3 月

社会福祉法人 浴風会
認知症介護研究・研修東京センター

まえがき

平成 17 年度に認知症介護研究・研修東京センターで行った調査研究事業のうち老人保健健康増進等事業に関わる調査研究の成果をお届けします。この調査研究事業は介護保険制度の維持、発展と適正で、円滑な運用に寄与するために設定されたもので、とりわけ当センターの目標課題でもある認知症高齢者の介護の質の向上をいかに確保していくかということを最重要課題として本事業を進めてまいりました。当センターが発足した 5 年前には介護面の研究、研修はまだまだ遅れていた時期でもありましたが、この 5 年間で認知症介護を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。グループホームの急激な増加傾向とユニットケアを視野に入れた施設介護のあり方の変容、医療制度改革と連動した介護保険制度の見直し等がそれです。めまぐるしく変わる状況の中にあつてつねに認知症高齢者の生活の質を確保し、介護の質を高めるにはどうしたらよいかという視点から調査研究事業の課題を探り取り組んできたところです。調査研究事業は単年度ごとですが、内容的には継続した息の長い研究成果も含まれています。ここにお示しした私たちの調査研究事業の成果が認知症の介護に携わる方々や認知症に取り組む行政機関の方々の参考に資することができれば幸いです。

平成 18 年 3 月末日

認知症介護研究・研修東京センター
研究部長 須貝佑一

目次

まえがき

はじめに	1
1. DCnet の Web 学習機能を活用した認知症介護人材育成支援事業.....	5
2. 認知症介護における介護技術向上を目的とした職場内研修(OJT)技法の開発事業	25
3. 認知症介護に関する教育への国際生活機能分類 (ICF) の導入に関する研究	45
4. 認知症介護にかかわるスタッフのソーシャルワークのあり方に関する研究...	67
まとめ.....	87
委員会名簿	90